

小西ひろゆきは、 任期二年目も **信念と実行力をもって** **「ともに生きる社会」**の実現のため 全力を尽くします！

ご挨拶

謹啓 2010年夏の参院選で国政に送り出して頂いてから任期の一年目を終え、二年目を迎えております。この間、ご支援を頂いた方々へのこの上ない感謝の思いを日々噛みしめながら、また、投票頂いた535,632人の方々への思いを刻みながら、国民の皆さまの「**かけがえのない幸せと尊厳を守る**」最終責任を預かる国会議員としての使命感を胸に、懸命に取り組んでまいりました。

国政に臨むに当たって、最初の一年で出来る限り国会議員としての仕事の仕方を覚え、先輩や同僚の中で人脈を作り、それを二年目、三年目で社会保障再建の鍵となる**医療基本法の制定**などの大仕事を成し遂げる基盤とするという目標を持って、自ら得た仕事はもちろん与えられた仕事一つ一つを懸命に頑張ってきました。

お陰さまで、成長戦略の**雇用・経済**、医療をはじめとする**社会保障**、政治とお金問題などの**政治改革**、事業仕分けの**行政刷新**などの分野で、責任ある数々の事務局長ポストなどを歴任し、自らの手で国政の重要政策を創り、実現する仕事を行ってまいりました。

特に、東日本大震災の対応においては、参院の**東日本大震災復興特別委員会**の理事に就任し、**原発被害の賠償関連法案**の与野党修正協議を担当し、また、党政調チームの責任者として復興の要である「**復興特区制度**」の立案を担うなどしております。

今、**千葉をはじめとして日本は待ったなしの状況**にあります。被災地の復興はもとより、それ以前から、長引くデフレ経済からの脱却、国際競争に打ち勝ちつつ地域に雇用を生み出す産業構造の転換、人口減少と少子・高齢化が進む中での社会保障の再建の実行、累積する財政赤字の削減といった課題に直面してまいりました。そして今、これらを、原子力政策の見直しによる新しいエネルギー供給体制の構築や、加速する産業空洞化の克服といった震災後の新しい局面の中で解決して行く必要があります。

向こう二年間の**民主党政権が担う歴史的使命は本当に重要なもの**があります。新しく民主党代表に選出された野田総理はその実行の重責を担うこととなりますが、これを一人一人の国会議員が全力で支えていかなければなりません。

そもそも、政権与党の国会議員の役割とは、常に**国民視点の立場**で、①縦割り行政の排除など**政府の力だけでは足りないところを補って本来あるべき政策を実現するリーダーシップ**を遂行することであり、さらには、②**政府に先んじて新しい社会の理念・価値**(=「**ともに生きる社会**」など)をつくり、それを国民に訴え政府を指導して**具体的な政策に形作るリーダーシップ**を遂行することです。

任期一年目を終えて私の実感する**民主党政権の重要な意義**は、こうした国会議員本来の役割の遂行が、政官業の癒着や年功序列、派閥政治が支配する自民政権では不可能であった一方で、民主党は基本的に、それぞれの議員がそうしたものに縛られることなく活躍することができる「**国民のための政党組織**」であるということです。

政権交代以降の民主党政権の二年間について国民の皆さまに深くお詫びを申し上げつつも、私はこうした組織を**国民の皆さまのために存分に活用し、そして、組織人の自覚のもとしっかりと育てていく決意**です。

最後に、去る参院選で私は、「**原点は家族介護、21年**」、「**くらしを守る即戦力**」とのキャッチフレーズで選挙戦を戦わせて頂きました。

皆さまへのこの変わらぬお約束を胸に、「**脳卒中後遺症により寝たきりであった私の父親のような境遇の人であっても、その人のかけがえのない尊厳が守られる社会、そして、お互いの幸せを公正なルールのもとに支え合いながら活力を持って発展していく社会**」、すなわち、「**安心と希望に満ちた、ともに生きる社会**」の実現のため、**任期の二年目も国会議員として自ら政権を動かし政策を実現する決意**で引き続き全力で頑張っていくことをお誓い申し上げます。

謹白

参議院議員 小西洋之
民主党 政調会長補佐



民主党千葉県参議院選挙区第5総支部長
小西ひろゆき

プロフィール
■1972年1月生まれ
■徳島大学医学部在籍後、東京大学教養学部卒
■米コロンビア大学国際公共政策大学院修了
■東京大学医療政策人材養成講座修了(優秀賞)
■総務省、経済産業省、農林水産省で、産業政策、農業政策、政治資金制度などを担当
■2010年7月参院選千葉県選挙区で535,632票を頂きトップ当選

アドレス
【議員会館事務所】
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館915号室
電話 03-6550-0915 ファクス 03-6551-0915
ホームページ <http://www.konishi-hiroyuki.com>
Eメール info@konishi-hiroyuki.com
【千葉事務所】
〒260-0031 千葉市中央区新千葉2-1-6 第一石橋ビル2階204号室
電話 043-247-2121 ファクス 043-247-2122

民主党千葉県参議院
選挙区第5総支部長
※討議用資料
2011年度 冬期号外 民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表) [press@dpj.or.jp](http://www.dpj.or.jp)
<http://www.dpj.or.jp>

国政での主な役職

(※次ページ以降を含め、野田新代表・総理の新体制のもと変更があり得ます)

- 所属委員会**
- 東日本大震災復興特別委(理事)、予算委、決算委、総務委、ODA特別委
- 民主党 党本部**
- 幹事長補佐(※東日本大震災対策本部員)
 - 陳情要請対応本部(副本部長補佐 総務省担当)
 - 政治改革推進本部(事務局長補佐)
 - 政調会長補佐(※野田体制より)
- 民主党 政策調査会**
- 総務部門会議、厚生労働部門会議、経済産業部門会議に所属
 - 東日本大震災復興ビジョンチーム 震災特別措置法対策チーム(主査)
 - 成長戦略・経済対策PT 総合特区・規制改革委員会(事務局長)
 - 行政刷新PT(主査)
 - 郵政改革法案WG(事務局長代理)
 - 厚生労働部門会議 脳卒中对策WG(事務局長代理)
 - 障がい者PT 難病対策WG(事務局次長)
 - 子ども・男女共同参画調査会 D.V防止法改正WG(事務局長)
- 議員活動**
- 医療基本法議連(事務局長)
 - 超党派 脳卒中对策基本法議連(事務局長)
 - 国会がん患者と家族の会(主査)
 - 医療再生議連 自治体病院WG(事務局次長)
 - 水基本法制定議連(事務局次長)
 - カタル議連(事務局次長)
- 顧問**
- 全国失語症友の会連合会
 - 税理士制度推進議員連盟
 - 国民の安心の医療をめざす
 - 民主党看護議員連盟
 - 民主党看護推進議員連盟
 - 私学振興推進議員連盟
 - 医療技術者政策推進議員連盟
 - 行政書士制度推進議員連盟
 - 障がい者政策推進議員連盟
 - 難病対策推進議員連盟
 - 介護を考える議員連盟
 - 成田空港ハブ化推進議員連盟
 - 仏教議員連盟
 - 自動車整備議員連盟
 - 歯科医療議員連盟
 - トラック議員連盟
 - 港湾振興議員連盟



国会論戦!!



初登壇 2010/8/30 国会質問の作成 総務委員会 決算委員会 予算委員会 東日本大震災復興特委(総理質問と直前の集中) 参院本会議 2011/7/29